

# DENON<sup>®</sup>

## DP-3000NE

Direct Drive Turntable

# 取扱説明書

フロント

リア



取り扱いについてのご注意	3
お手入れについて	3
結露(つゆつき)について	3
注油について	3
付属品	4
各部の名前	6
フロント	6
リア	8
<b>準備する</b>	
組み立てる	10
プッターを取り付ける	11
カウンターウェイトを取り付ける	11
カートリッジを取り付ける	12
ヘッドシェルを取り付ける	14
ダストカバーを取り付ける	15
サブウェイトを取り付ける	15
調整する	16
インシュレーターの高さを調整する	16
針圧を調整する	17
アンチスケーティングを調整する	20
トーンアームの高さを調整する	21

## 接続のしかた

PHONO 入力端子付きのアンプを接続する	24
電源コードを接続する	25

## 再生のしかた

レコードを再生する	26
レコードを再生する	26
再生を終了する	28

## こんなときの解決方法

目次	29
故障かな?と思ったら	30
電源が入らない	31
電源を切れない	31
音がまったく出ない	31
“ブーン”というハム音が出る	32
音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る	32
ハウリングが生じる	33
トーンアームが途中で進まない	33
プッターの回転数が設定した回転数にならない	33

## 付録

主な仕様	34
------	----



## 取り扱いについてのご注意

### お手入れについて

- キャビネットやダストカバーの汚れは、拭き布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

### 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1、2 時間放置してから使用してください。

### 注油について


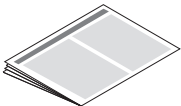
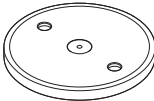
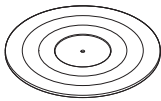
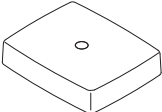
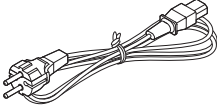
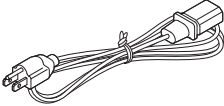
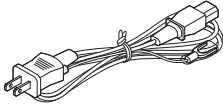
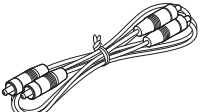


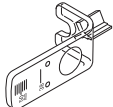
本機のモーターは、注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。



お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 付属品

ご使用になる前にご確認ください。

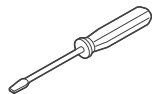
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>プラッター</p>	 <p>プラッターマット</p>
 <p>ダストカバー</p>	 <p>電源コード (欧州向け)</p>	 <p>電源コード (北米向け)</p>	 <p>電源コード (日本向け/約2m)</p>
 <p>オーディオケーブル(約1m)</p>	 <p>アース線(約1.5m)</p>	 <p>ヘッドシェル (リードワイヤー付き)</p>	 <p>オーバーハングゲージ</p>





カートリッジ取り付けネジセット

- ・ネジ(短/中/長):各2本
- ・ナット:2個
- ・ワッシャー:2個



ドライバー



カウンターウェイト



サブウェイト



45回転レコード用アダプター

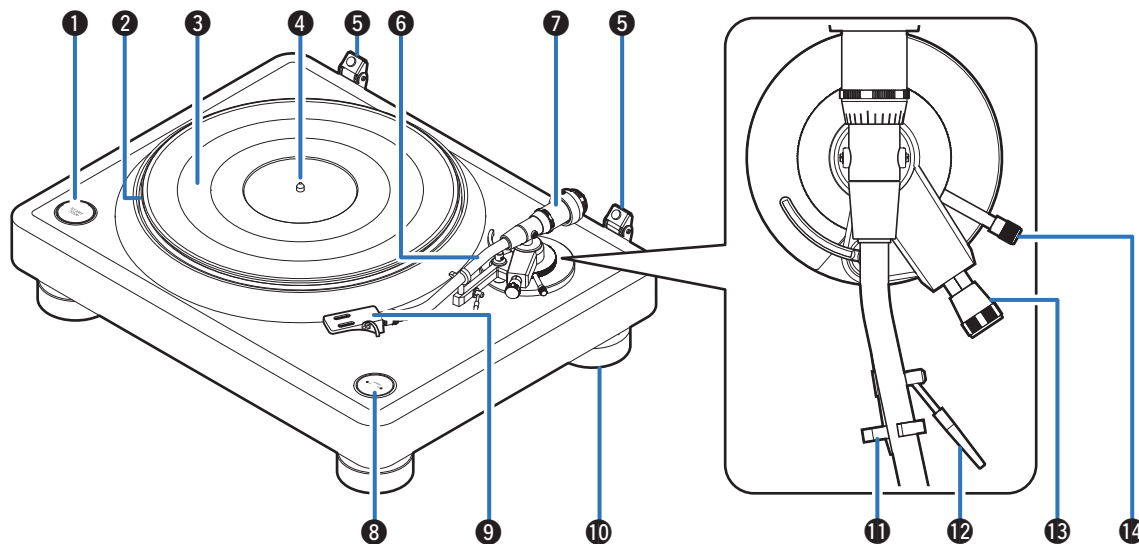


カートリッジスペーサー

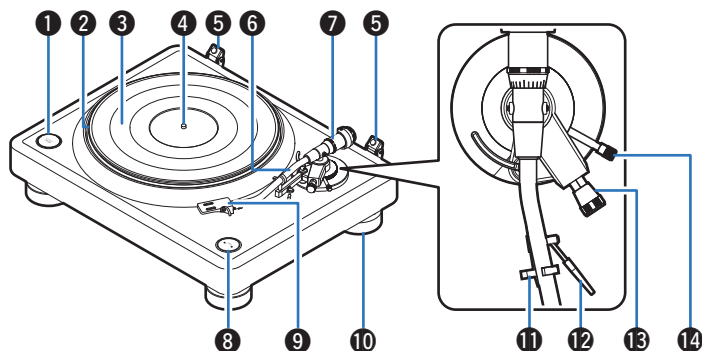


# 各部の名前

## フロント



詳しくは、次のページをご覧ください。



### ① START/STOP ボタン

プлатターの回転/停止を切り替えます。(P.26 ページ)

### ② プラッター

本体のセンタースピンドルに差し込んで取り付けます。(P.11 ページ)

### ③ プラッターマット

プラッターの上に取り付けます。(P.11 ページ)

### ④ センタースピンドル

プラッターやレコードなどの中心穴を差し込みます。

### ⑤ ダストカバー取り付けヒンジ

付属のダストカバーを取り付けます。(P.15 ページ)

### ⑥ トーンアーム

- 後部にカウンターウェイトを取り付けます。(P.11 ページ)
- 先端にヘッドシェルを取り付けます。(P.14 ページ)
- 後部にサブウェイトを取り付けます。(P.15 ページ)

### ⑦ カウンターウェイト

- トーンアームの後部に取り付け、針圧を調整します。
- 「カウンターウェイトを取り付ける」(P.11 ページ)
  - 「針圧を調整する」(P.17 ページ)

### ⑧ SPEED 33/45 ボタン

再生するレコードに合わせて回転数を切り替えます。(P.26 ページ)

### ⑨ ヘッドシェル

市販のカートリッジをヘッドシェルに取り付けてから、トーンアームの先端に取り付けます。(P.12 ページ)

### ⑩ インシュレーター

インシュレーターの高さを調節できます。(P.16 ページ)

### ⑪ アームレスト

レコードを再生しないときに、トーンアームを乗せます。

### ⑫ リフターレバー

トーンアームを上げたり下げたりします。レバーを下げたときトーンアームはゆっくりと下がりますので、レコードやレコード針を傷付けることなく、レコード針を降ろすことができます。(お買い上げ時は下がった状態です)

### ⑬ アンチスケーティング調整つまみ

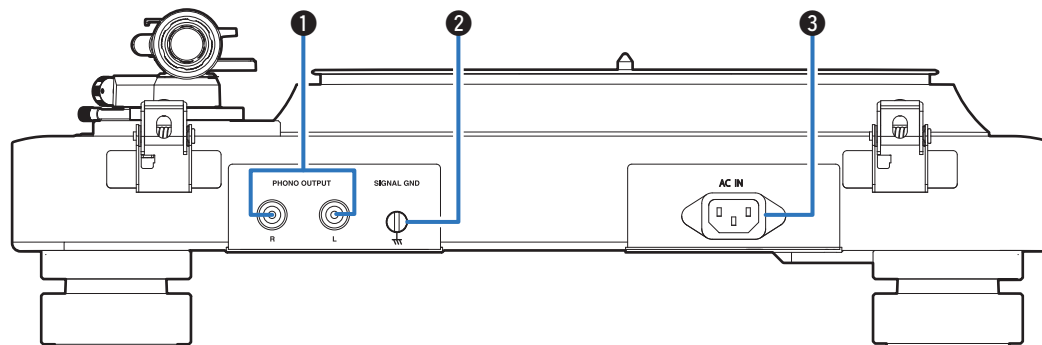
アンチスケーティングを調整します。(P.20 ページ)

### ⑭ アーム高さ調整つまみ

お使いになるカートリッジやヘッドシェルに合わせて、トーンアームの高さを調整します。(P.21 ページ)



## リア

**① PHONO 出力端子(PHONO OUTPUT)**

PHONO 入力端子付きのアンプなどを接続します。(☞24 ページ)

**② アース端子(SIGNAL GND)**

本機と接続するアンプにもアース端子がある場合、付属のアース線を使って接続します。(☞24 ページ)

**③ AC インレット(AC IN)**

付属の電源コードを接続します。(☞25 ページ)





## ■ 目次

### 組み立てる

ブラッターを取り付ける	11
カウンターウェイトを取り付ける	11
カートリッジを取り付ける	12
ヘッドシェルを取り付ける	14
ダストカバーを取り付ける	15
サブウェイトを取り付ける	15

### 調整する

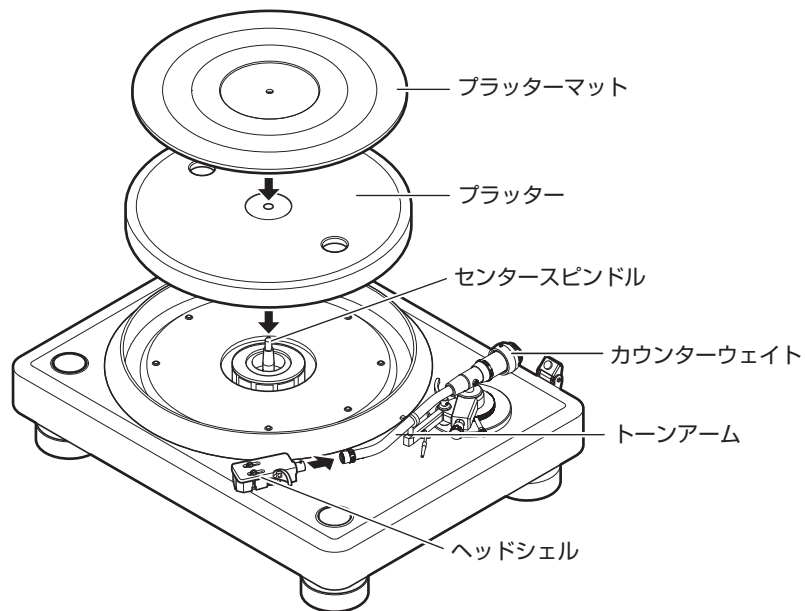
インシュレーターの高さを調整する	16
針圧を調整する	17
アンチスケーティングを調整する	20
トーンアームの高さを調整する	21



## 組み立てる

お使いになる前に、付属の各部品を本機に取り付けてください。

レコードプレーヤーは振動や傾きに影響を受けやすいため、あらかじめ安定した水平な場所に本機を設置してください。

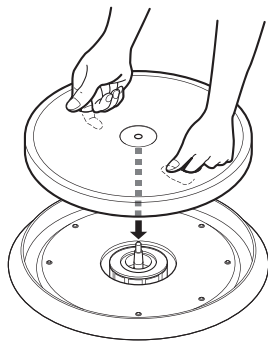


### ご注意

- 組み立ての際には、電源コードを本機とコンセントに接続しないでください。

## プラッターを取り付ける

- 1 プラッターの中心の穴をセンタースピンドルに差し込む。



### ご注意

- センタースピンドルの周囲に異物が無いことを確認してから、プラッターを取り付けてください。
- プラッターは重いので、取り扱いにはご注意ください。
- 取り付けの際に、指を挟まないようご注意ください。

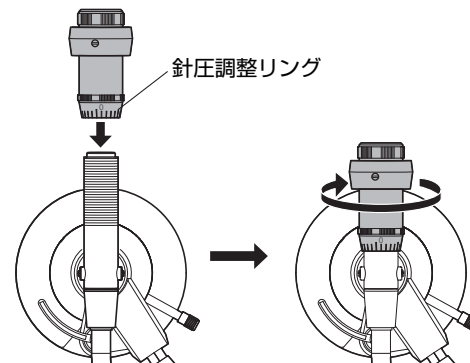
- 2 プラッターマットをプラッターの上に取り付ける。



- DENON ロゴの表示がある面を下にして取り付けてください。

## カウンターウェイトを取り付ける

- 1 トーンアームの後部の軸にカウンターウェイトを差し込み、軽く押しながら矢印の方向に回して取り付ける。



- カウンターウェイトの針圧調整リングを前方に向けて取り付けてください。

### ご注意

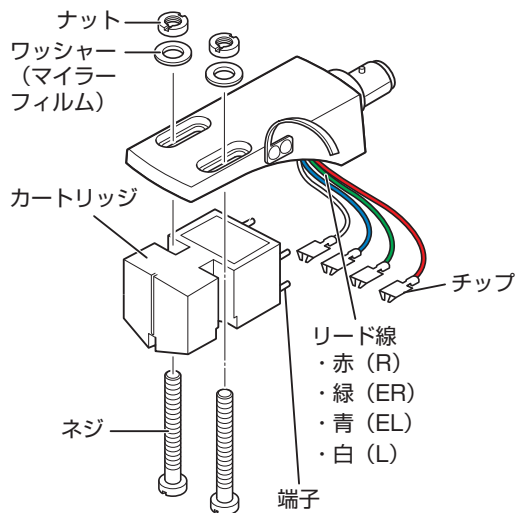
- カウンターウェイトのネジ山はデリケートですので、無理な力を加えないよう慎重に取り付けてください。



## カートリッジを取り付ける

### 1 カートリッジ(市販)をヘッドシェルに軽く固定する。

- お使いのカートリッジの表示や取扱説明書を参照し、カートリッジの端子にリード線を正しく接続してください。
- オーバーハング調整のため、カートリッジを動かせるように仮止めしてください。

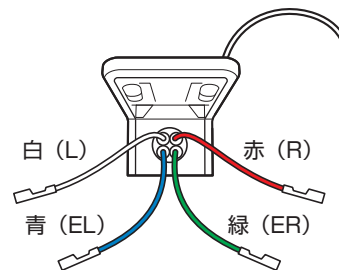


#### ご注意

- 付属のネジ、ナット、ワッシャーおよびドライバーをご使用ください。
- 針先に触れないようご注意ください。

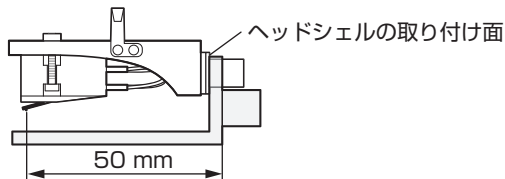


- ヘッドシェル側のリード線がはずれた場合、下図のようにリード線のチップをヘッドシェルの端子に接続してください。
- 付属のリード線を市販のリード線に交換してお使いいただけます。

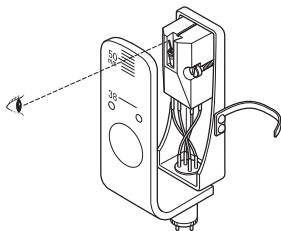


## 2 オーバーハングを調整し、カートリッジをヘッドシェルにしっかりと固定する。

- ① ヘッドシェルにオーバーハングゲージ(付属)を取り付ける。



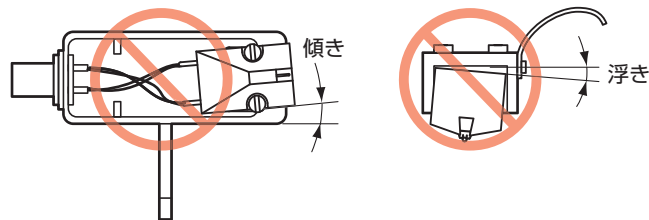
- ② カートリッジの針先とオーバーハングゲージの50 mmの目盛りが重なるように、カートリッジを動かして調整する。
- 50 mm: 本機のプラッターとトーンアームの位置関係において、針先が左右のチャンネルをバランス良くトレースできる設定値です。(オーバーハング値)



- ③ ドライバーでネジを締め、カートリッジをヘッドシェルに固定する。

### ご注意

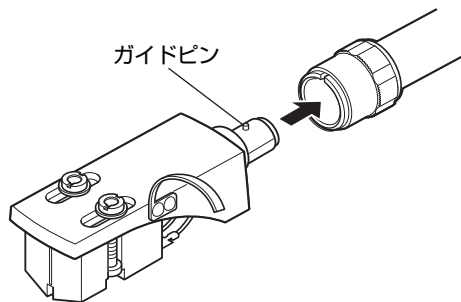
- カートリッジの針先がレコードの溝を正しくトレースするために、カートリッジは傾きや浮きがないように取り付けてください。



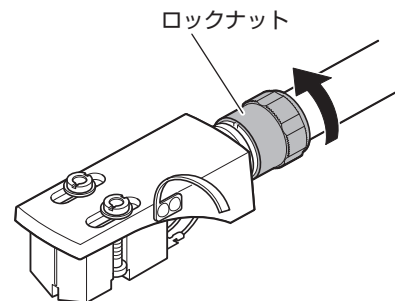
## ヘッドシェルを取り付ける

### 1 ヘッドシェルをトーンアームの先端に差し込む。

- ヘッドシェルのガイドピンを上に向け、トーンアーム先端のくぼみに合わせて差し込んでください。



### 2 ロックナットを矢印の方向に回して、ヘッドシェルを固定する。

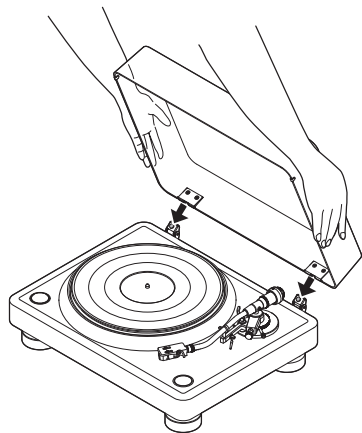


#### ご注意

- 針先に触れないようご注意ください。
- ヘッドシェルやトーンアームの端子が汚れている場合、音質に影響することがありますので定期的に清掃するなどして清潔に保ってください。

## ダストカバーを取り付ける

- 1 本体のヒンジの先端をダストカバーのヒンジ取り付け部に挿入する。

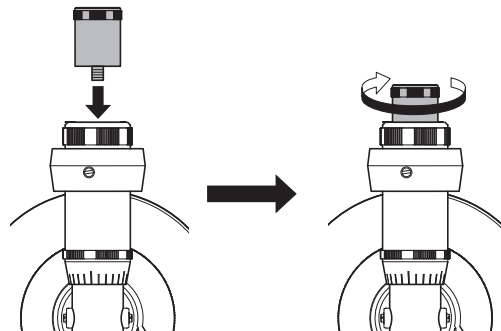


- ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーを全開にした状態で矢印の反対方向に引き抜いてください。

## サブウェイトを取り付ける

お使いのカートリッジやヘッドシエルの重量によって、カウンターウェイトだけではトーンアームを平行にできない場合があります。その場合は付属のサブウェイトをトーンアームに取り付け、バランスをとってください。

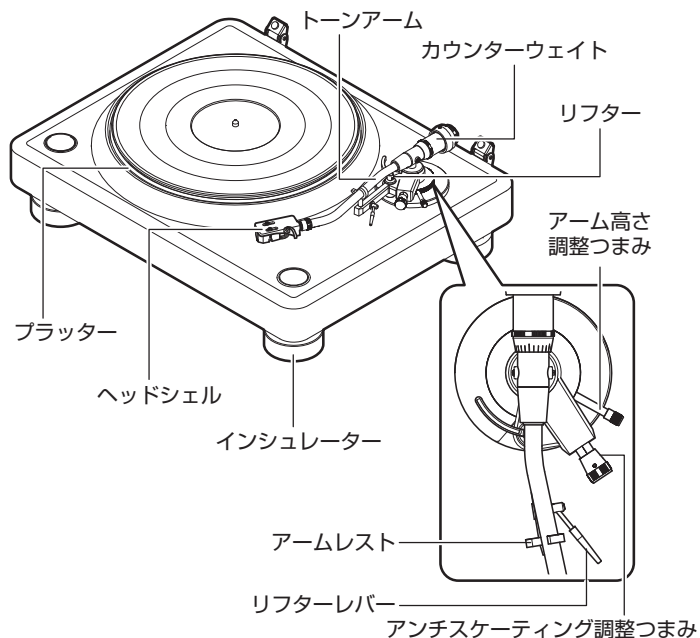
- 1 トーンアーム後端のネジ穴を使って、カウンターウェイトの後ろにサブウェイトを取り付ける。



- ウェイトに適合するカートリッジの質量範囲については、「適合カートリッジ質量」(P.35 ページ)をご参照ください。

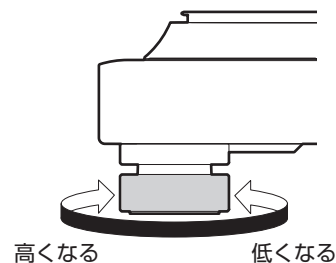


## 調整する



### インシュレーターの高さを調整する

- 1 ブラッターが水平になるようにインシュレーターを回して高さを調整する。



#### ご注意

- インシュレーターを締め過ぎると破損のおそれがありますので、締めすぎないようにご注意ください。



- 市販の水準器をお使いいただくと、より正確な調整ができます。

#### ご注意

- 調整の際には、電源コードを本機とコンセントに接続しないでください。



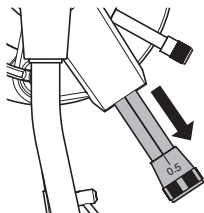


## 針圧を調整する

レコード針がレコードの溝をなぞって音(振動)を拾うためには、一定の圧力(針圧)を針先からレコードにかける必要があります。針圧はカートリッジごとに適正な数値が決まっています。決められた針圧より高すぎたり低すぎたりすると、レコード再生の際に音が歪んだり針飛びしたりしてしまうだけでなく、レコード針の摩耗を早めてしまったり、レコードを傷つけてしまうおそれもありますので、必ず適正な数値に調整してください。

### 1 アンチスケーティング調整つまみを矢印の方向に引く。

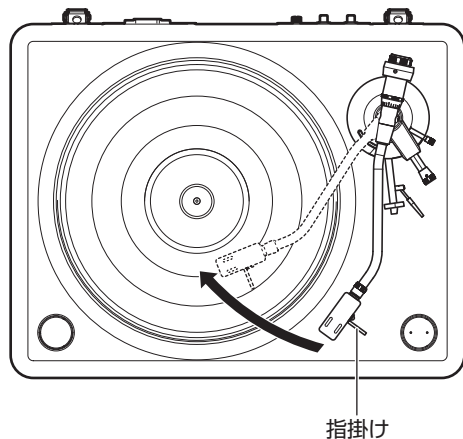
アンチスケーティング機能がオフになります。



### 2 リフターレバーを下げる。

### 3 アームレストからトーンアームをはずす。

### 4 ヘッドシェルの指掛けを持ち、プッターの上まで移動させる。



#### ご注意

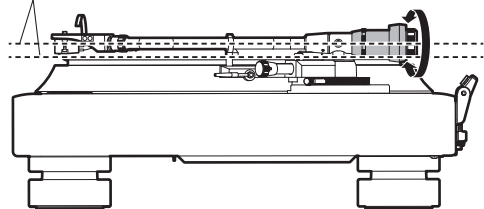
- 針カバーを取りはずせるカートリッジの場合は、針カバーを取りはずしてください。



## 5 トーンアームとプラッターが平行になるよう、カウンターウェイトを回して調整する。

- カウンターウェイトを少しずつ回し、手を離して確認しながら調整してください。

平行にする

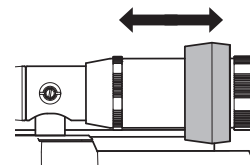
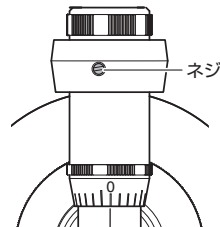


### ご注意

- 針先がプラッターマットや本体に接触しないようご注意ください。



- カウンターウェイトの一部をスライドさせて調節することもできます。カウンターウェイトのネジを付属のドライバーで緩めてスライドさせてください。調節後はネジを締めて固定してください。

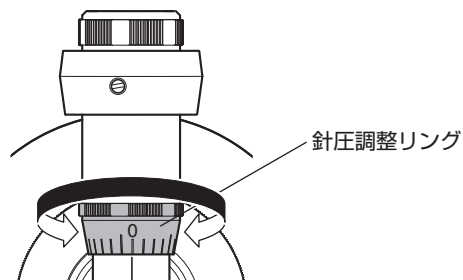


- お使いのカートリッジやヘッドシエルの重量によってトーンアームを平行にできない場合、付属のサブウェイトをトーンアームに取り付けてください。(P.15 ページ)

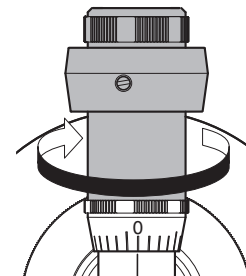


6 トーンアームをアームレストに戻す。

7 カウンターウェイトが動かないように指でおさえながら、針圧調整リングの“0”の目盛りをトーンアーム上の線に合わせる。



8 カウンターウェイトを矢印の方向に回し、カートリッジの適正針圧値に合わせる。

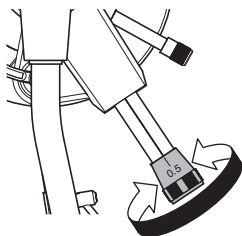


- カートリッジの適正針圧値は、ご使用になるカートリッジの取扱説明書をご確認ください。

## アンチスケーティングを調整する

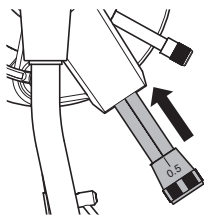
アンチスケーティングの調整は、レコードの回転によって針先が内側に引っ張られる力を打ち消すためにおこないます。

- 1 アンチスケーティング調整つまみを回してカートリッジの針圧と同じ数値に合わせる。



- 2 アンチスケーティング調整つまみを矢印の方向に押す。

アンチスケーティング機能がオンになります。



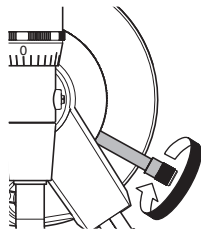
- 針圧 3.0g 以上のカートリッジをお使いの場合は、“3” に合わせてください。
- 本機のアンチスケーティング機能はトーンアームの軸に非接触なマグネット方式ですので、アームの感度に影響を与えません。



## トーンアームの高さを調整する

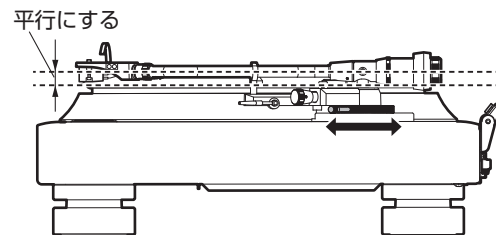
お使いになるカートリッジやヘッドシェルによっては、レコードに針先を置いた際にトーンアームがレコードと平行にならない場合があります。その場合は、トーンアームの高さを調整してレコードと平行にしてください。適切に調整することで、カートリッジの針先がレコードの溝を正しくトレースします。

- 1 アーム高さ調整つまみを反時計回りに回してロックを解除する。

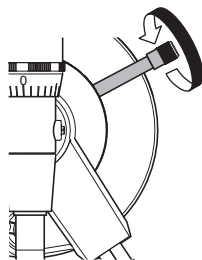


- 2 アーム高さ調整つまみでトーンアームの台座を回して高さを調整する。

- レコード盤面とトーンアームが平行になるよう調整してください。



### 3 アーム高さ調整つまみを時計回りに回してロックする。



- トーンアームの高さは 0～9 mmの間で調整できます。
- カートリッジの高さが低いと、トーンアームの高さを調整してもレコードとトーンアームが平行にならない場合があります。このような場合は、付属のカートリッジスペーサーをヘッドシェルとカートリッジの間に挟んで、レコードとトーンアームが平行になるように調整してください。



## ■ 目次

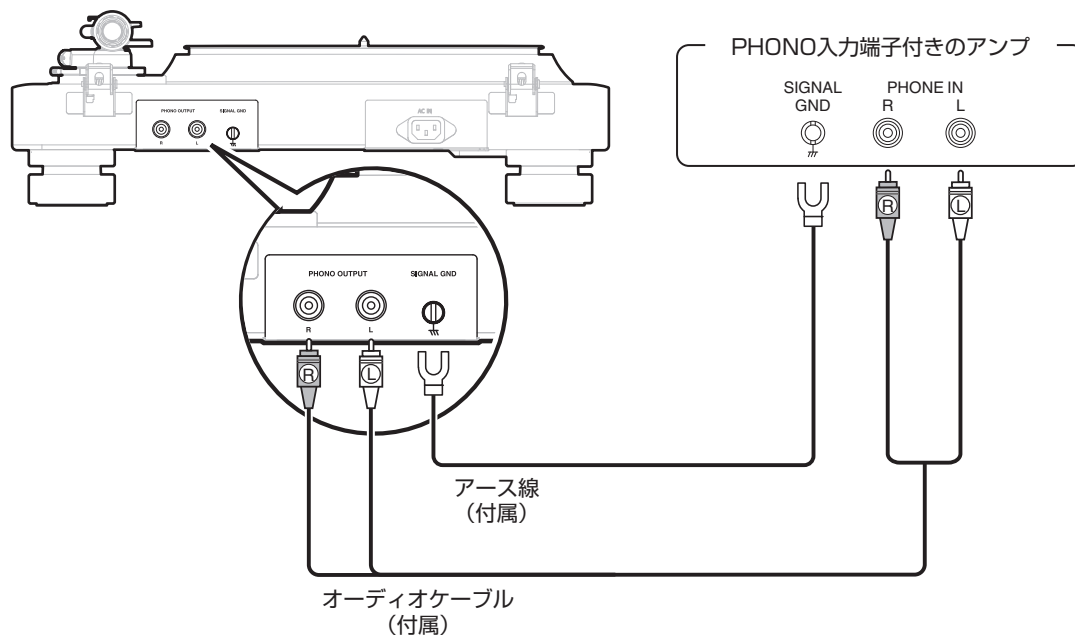
PHONO 入力端子付きのアンプを接続する	24
電源コードを接続する	25

### ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。



## PHONO入力端子付きのアンプを接続する



- 本機と接続する機器がアース端子を搭載している場合、アース線(付属)を使って本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。再生時のノイズが少なくなることがあります。
- オーディオケーブルのプラグ部に、左右識別のため赤と黒のゴムリングを装着しています。ゴムリングが外れた場合は装着し直してください。

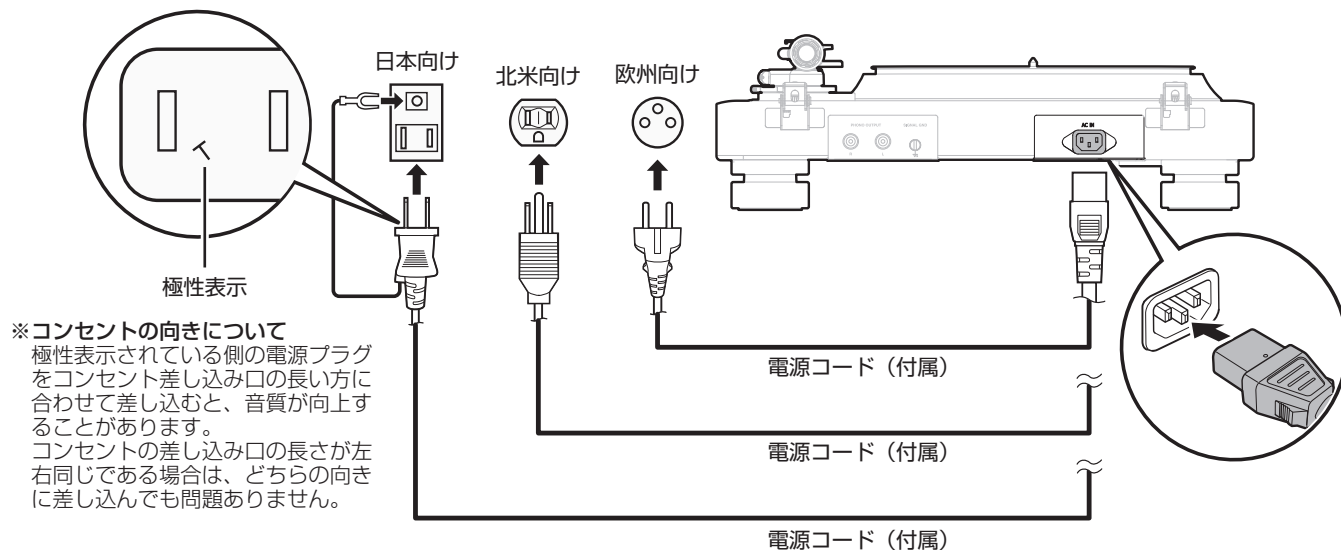




## 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

各地域に適応した電源コードを付属しています。お住まいの地域に適応した電源コードをお使いください。

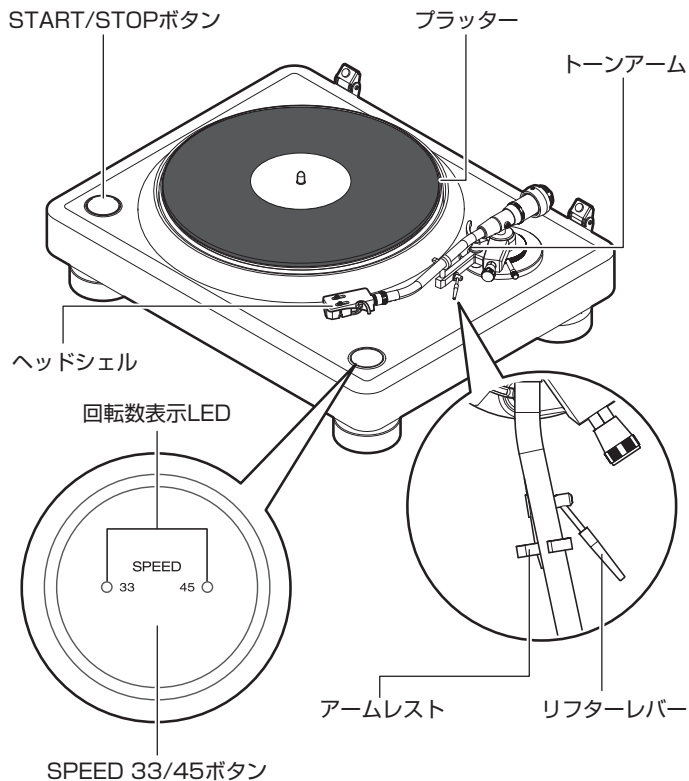


### ご注意

- 本機に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、本機の電源が入ります。
- 長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



# レコードを再生する



## レコードを再生する

### 1 レコードをプラッターの上に載せる。



- EPレコード(ドーナツ盤)を再生するときは、あらかじめ45回転レコード用アダプター(付属)をセンタースピンドルに差し込んでください。
- 45回転レコード用アダプターはスタビライザーとしてお使いいただくこともできます。

### 2 SPEED 33/45 ボタンを押してプラッターの回転数をレコードの回転数に合わせる。

押すたびに回転数が33 1/3 または45に切り替わり、回転数表示LEDが設定に合わせて点灯します。



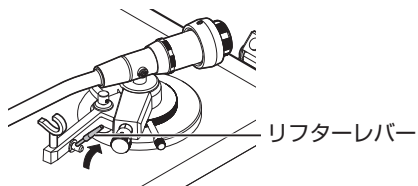
- 本機は78回転にも対応しています。SPEED 33/45 ボタンを押しながらSTART/STOP ボタンを押すと、回転数表示LEDが2つとも点灯して78回転に切り替わります。
- レコードの回転数は通常、レコードのジャケットやレーベルに記載されています。
- SPEED 33/45 ボタンを押した後、回転数表示LEDが約20秒間点灯します。
- プラッターが回転している間、設定した回転数の回転数表示LEDが点灯します。
- プラッター停止後、約20秒後に回転数表示LEDが消灯します。

### 3 START/STOP ボタンを押す。

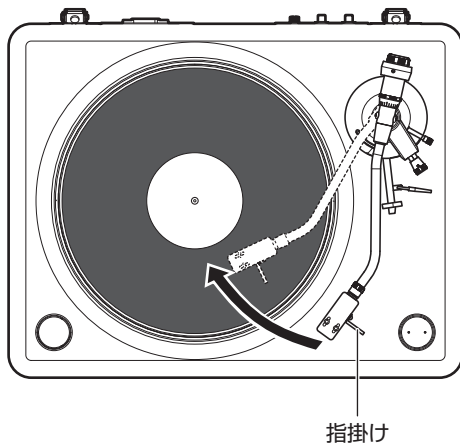
プラッターが回りはじめます。



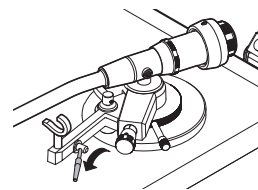
- 4 リフターレバーを上げ、アームレストからトーンアームをはずす。



- 5 ヘッドシェルの指掛けを持ち、針先を再生したい曲の開始位置の直上に移動する。



- 6 リフターレバーを下げる。  
トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコードに降りて再生をはじめます。



- レコードに傷をつけないようご注意ください。
- 再生中は、次の点にご確認ください。
  - トーンアームやプラッターに触れない。
  - 電源を切らない。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
- レコードを交換するときは、プラッターが止まってからおこなってください。
- プラッターの回転中にプラッターを手でおさえて回転を止めないでください。内部が発熱し、故障や火災の原因となることがあります。



## 再生を終了する

- 1 リフターレバーを上げる。  
トーンアームが上昇し、針先がレコードから離れます。
- 2 ヘッドシェルの指掛けを持ち、トーンアームをアームレストに戻す。
- 3 リフターレバーを下げる。
- 4 START/STOP ボタンを押す。  
プлатターの回転が止まります。



# 目次

---

## ■ 故障かな？と思ったら

電源が入らない	31
電源を切れない	31
音がまったく出ない	31
“ブーン”というハム音が出る	32
音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る	32
ハウリングが生じる	33
トーンアームが途中で進まない	33
プッタターの回転数が設定した回転数にならない	33



## 故障かな？と思ったら

---

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



## 電源が入らない

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(☞ 25 ページ)

## 電源を切れない

電源を切れない。

- 本機には電源スイッチがありません。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞ 23 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- カートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。(☞ 12 ページ)



## “ブーン”というハム音が出る

“ブーン”というハム音が出る。

- オーディオケーブルのアース線がアンプに接続されているか確認してください。(P.24 ページ)
- オーディオケーブルがアンプに正しく接続されているか確認してください。(P.24 ページ)
- ヘッドシェルがトーンアームにしっかり固定されているか確認してください。(P.14 ページ)

## 音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る

音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る。

- 針圧が適性針圧になっていません。正しく調節してください。(P.17 ページ)
- レコードに傷が付いていないか確認してください。
- レコードが反っていないか確認してください。
- 針またはレコードが汚れていないか確認してください。





## ハウリングが生じる

ハウリングが生じる。

- 本機とスピーカーの位置が近すぎます。スピーカーを本機から離れた場所に設置してください。
- 本機が不安定な場所に設置されています。本機を安定した水平な場所に設置してください。
- 再生する音量が大きすぎます。本機に接続しているアンプの音量を調節してください。

## トーンアームが途中で進まない

トーンアームが再生中に進まなくなる。

- レコードに傷が付いていないか確認してください。
- トーンアームに何か当たっていないか確認してください。

## プлатターの回転数が設定した回転数にならない

プлатターの回転数が設定した回転数にならない。

- プラッターの回転数が設定した回転数にならない場合は、回転数表示 LED が点滅し続けます。電源コードを抜き差しし、START/STOP ボタンを再度押してください。この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。



# 主な仕様

## ■ ターンテーブル部

駆動方式:	ダイレクトドライブ
回転数:	33 1/3rpm、45rpm、78rpm
ワウ・フラッター:	0.06%以下 WRMS
起動時間:	1 秒以内で規定回転(33rpm 時)
起動トルク:	4.5kg・cm
プлатター:	アルミダイカスト、直径:305mm
モーター:	ブラシレス DC モーター
スピード制御方式:	SVPWM 制御、クォーツロック
回転数偏差:	± 0.5%以内
S/N 比:	70dB 以上



## ■ トーンアーム部

アーム形式:	スタティックバランス S 字型パイプアーム
アーム有効長:	244mm
オーバーハング:	14mm
トラッキングエラー:	2.5° 以内(最大)
アーム高さ調整範囲:	約 9mm
針圧可変範囲:	2.5g(24.5mN) / 1 回転あたり 1 目盛り 0.1g(0.98mN)
適合カートリッジ質量:	サブウェイト未使用時 4~16g 15~27g(リード線付きヘッドシェル、ネジ、ナットおよびワッシャーを含む) サブウェイト使用時 14~26g 25~37g(リード線付きヘッドシェル、ネジ、ナットおよびワッシャーを含む)
ヘッドシェル質量:	11g(ネジ、ナットおよびワッシャーを含む)

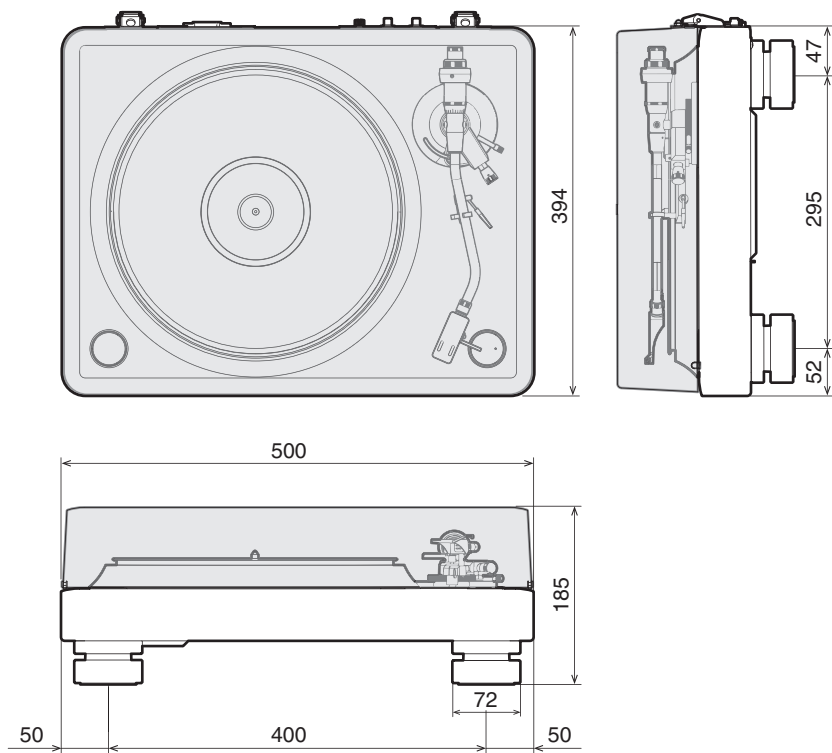
## ■ 総合

動作温度:	+5 °C~+35 °C
電源:	AC 100~240V、50/60Hz
消費電力:	4W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W 以下

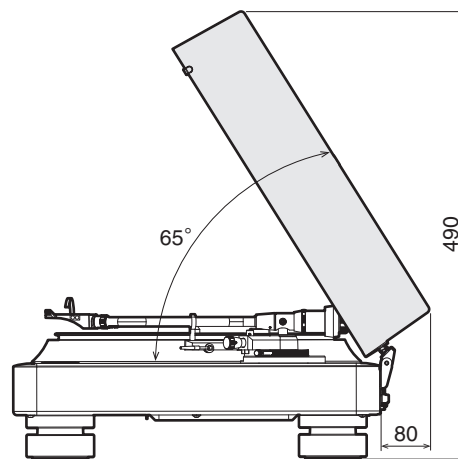
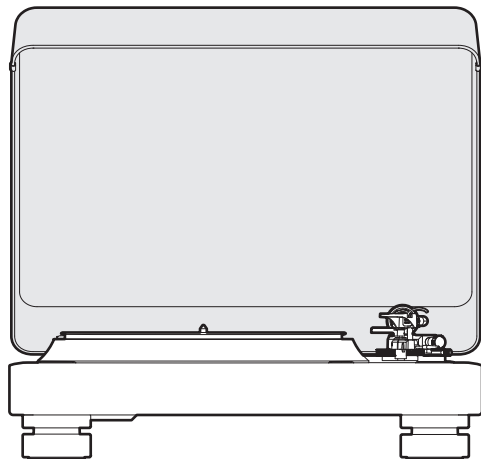
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



## ■ 寸法(単位:mm)



【ダストカバーオープン時】



■ 質量 : 18.5kg(ダストカバーを含む)

**DENON®**

[www.denon.com](http://www.denon.com)

3520 10915 00ASB

©2023 DEI Sales, Inc. All Rights Reserved.